

- ④ 研究協議  
複式学級経営上の諸問題

- ① 趣 旨  
へき地における小学校及び中学校の学校経営・学習指導と生徒指導の諸問題について研究協議をするとともに全国各地におけるへき地教育の状況について理解を深め研究成果を交換することによってへき地教育の充実を図る。

### 5 教育機器等の購入補助

複式学級学習指導の能率化並びに指導内容の充実を図るため、シート式磁気録音機、オーバーヘッドプロジェクターの購入費のうち、2分の1額を限度として、シート式磁気録音機29台、オーバーヘッドプロジェクター27台分に補助し、あわせて設備充実を図った。

- ② 期 日  
昭和52年11月9日(木)～11日(金)
- ③ 会 場  
分科会場 近畿地方2府4県 11会場
- ④ 研究主題  
新時代を開発し主体的・創造的に生きる子供の育成  
——へき地小規模校の特性を生かす学校・学級経営と学習指導のあり方を求めて——

### 6 研 修

へき地学校に勤務する教員の資質向上を図るため、全国へき地教育研究大会、へき地教育指導者講座、へき地教育優良校視察等に参加する機会を設けた。

- ⑤ 派遣者氏名

参加部会	職・氏名	勤務校	研究課題(分科会)
国算	教諭 上遠野久雄	いわき市立 差塩小学校	極少数の特性を生かした指導法はどうあるべきか
理科	教諭 安藤弘義	都路村立 岩井沢小学校	驚きや疑問をもち、事物を進んで学習し、自然に親しむ子どもを育てるにはどうすればよいか
理科	教諭 鈴木脩平	飯館村立 小宮小学校	上に同じ
算数	教諭 加藤勝夫	金山町立 水沼小学校	ひとりひとりが意欲をもって学ぶ子どもの育成はどうあるべきか
算数	教諭 室井睦博	下郷町立 南小学校	上に同じ
国社数音英特 別活動	研究会 研究員 車田喜宏	福島県教育センター	学習集団をたかめる手だてはどうあればよいか ——授業研究を通して—— 望ましい生徒活動のあり方を求めて ——学級会活動を通して—— 地域の教育課題とどう取り組むか ——生徒の生活実態を通して——

### (2) へき地教育指導者講座

昭和52年10月18日(火)～20日(木)

- ① 趣 旨  
へき地学校における課題を研究協議し、指導者としての指導力を高め、へき地教育の改善に資する。
- ② 期 日
- ④ 派遣者氏名

- ③ 会 場  
新潟県長岡市、小千谷市、栃尾市、山古志村の五小学校を会場として実施

参加部会	職・氏名	勤務校	研究主題(分科会)
国語	教諭 弓田ミヨ	下郷町立 檜原小学校戸赤分校	文法表現力を向上させるための効果的指導法について
	教諭 佐藤登	いわき市立 小川小学校戸渡分校	
社会	教諭 渡辺五郎	川俣町立 山本屋小学校田代分校	地域社会の素材を効果的に生かした社会科指導について
算数	教諭 富田正蔵	飯館村立 大倉小学校	複式学級の算数指導において、筋道を立てて考える態度を育成する指導のくふうについて
	教諭 長谷川紘平	昭和村立 大戸小学校	
理科	教諭 青木敏男	鯉川村立 富田小学校	地域の実態を効果的に生かした複式学級の理科指導について
	指導主事 星 慎也	福島県教育庁 会津教育事務所	
特別活動	教諭 富岡直	天栄村立 羽鳥小学校	へき地小規模校におけるクラブ活動の組織と運営について
	指導主事 幕田貞一	福島県教育庁 義務教育課	